

令和 7 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 13		学校名		茨城県立大子特別支援学校										学校長名		江幡 覚			
副校長名						教頭名		神山 茂俊					事務（室）長名		武石 恵子					
教職員数	教 諭	21	養 護 教 諭	1	常 勤 講 師	4	非常勤 講 師		実 習 助 手		寄 宿 舎 指 導 員		事務職員	2	技 術 職 員 等	11	計			
幼児・ 児童・ 生徒数	部		1 年（3 歳児）		2 年（4 歳児）		3 年（5 歳児）		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	幼稚部																			
	小学部		2	2	2	0	1	1	2	2	2	1	2	2	11	8	6			
	中学部		5	0	5	2	6	2							16	4	6			
	高等部																			
	専攻科																			
															小計	27	12	12		
															合計	39				

2 目指す学校象

「持続可能で、選ばれる、地域とともにある学校」 ◆持続可能で・・・安全・安心な環境を確保し、災害や社会の変化に柔軟に対応できる力を育む学校 ◆選ばれる・・・地域の特別支援教育の中核として、誰もが安心して学べる場を提供する学校 ◆地域とともにある学校・・・コミュニティスクールを活用し、地域づくりと学校づくりをともに進める学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・学校運営協議会を活用し、地域と学校が連携・協働して、課題テーマに即した地域資源や特色を活用した体験活動を構築した。 ・各種マニュアルの適宜改訂、施設の安全点検・改修等を着実に進め、避難訓練や安全教育を計画的に実施した。 ・働き方改革の一環として、定時退勤日の設定（金曜日）や業務内容の見直しを行い、事務作業の簡略化および軽減に向けた調整を実施した。 ・コンプライアンスニュースを定期的に発行し、職員の意識向上を図ることで、学校全体の改善を促進し、組織の健全な運営を支える基盤を構築した。	・自然体験活動の実施に向けて、学校運営協議会委員間の連携や、学校間の協力体制を確立する。 ・ヒヤリハット事例の蓄積等を行い、安全管理体制の一層の充実を図る。 ・業務の優先順位を明確にし、業務の削減を図る。 ・コンプライアンスに関する最新の法改正や規制等の最新情報を提供し、意識を高めて推進する。
学習指導	・特別支援学校チャレンジ 2024 では、職員全体が連携し、地域資源を活用した教育課程の編成・実施を進めてきた。地域協働や強化等横断的な学びを通じて、児童生徒の主体性を育てていくことや、知らないことを知る知的な好奇心をさらに引き出すことが今後の課題である。 ・年間指導計画に基づき、各単元の指導内容を整理し、目標達成を効果的に推進するための単元計画表を作成した。単元を通して学びを深める指導の工夫が求められる。	・キャリア・パスポートを活用し、児童生徒が自らの学びを記録することを通して主体性を育むため、記録内容に対する具体的な振り返り指導を充実させる。 ・単元計画表をもとに教育活動を振り返り、学習内容の見直しや体験活動の充実を図りながら、児童生徒の主体性を育む単元の追加・修正を継続して支援する。

4 中期的目標

1. 「学びがい」の推進・・・地域資源や特色を活用した体験活動を柱に、教科等横断的な教育課程の編成と教職員の授業実践力向上。 2. 「働きがい」の推進・・・学校運営協議会を通じて地域と学校が共通の課題に取り組み、児童生徒の主体性を育むとともに、教職員のコンプライアンス意識を高め、信頼される学校を目指す。 3. 「頼りがい」の推進・・・危機管理体制と専門性に基づく教育の充実を図り、安心と信頼の学校づくりを推進し、地域の学校と連携を深める。 4. 「生きがい」の推進・・・教職員の生きがいを感じる働きやすい職場環境を整えるとともに、児童生徒の主体的な学びを支える社会教育活動を推進する

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1. 「学びがい」の推進	①指導の個別化と学習の個性化による個別最適な学びの実現 ②体験と教科が関連づいた、教科等横断的で学びやすいカリキュラムの実現 ③障害特性の考慮と知見や根拠に基づいた、わかりやすい授業実践の実現 ④主体的に取り組むための、興味や得意なことに応じた支援や工夫
2. 「働きがい」の推進	①地域社会と関わる学びを通して、心の教育を深めるとともに、自立や社会で役立つ力の育成 ②ICT 活用と SDGs の視点を踏まえた教育実践力の向上 ③子ども目線でのいじめ防止と心のケアによる安心できる環境づくりの推進 ④教職員として必要なコンプライアンス意識（法令遵守や道徳的行動）の醸成
3 「頼りがい」の推進	①健康・安全に関する能力及び実践態度を育成する教育の充実 ②学校危機に対応する学校環境の整備と、防災安全教育の充実 ③地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮
4. 「生きがい」の推進	①健康で豊かな生活をおくるための生涯スポーツの推進 ②生活の質の向上と余暇の充実につながる文化芸術活動の充実 ③社会のニーズを踏まえた働きやすい職場環境の整備と働き方改革の推進 ④社会自立と社会参加の推進（就労・余暇・地域参画・奉仕活動）